

バイオバンク試料・情報ご利用案内



15万人のヒト試料及び情報が
利用可能に！



東北メディカル・メガバンク計画のバイオバンクは、参加者の血清、血漿等の生体試料と、アンケート調査や生理学検査の情報及び、ゲノム・オミックス解析のデータを収集・管理しています。準備が完了したもから、順次、分譲を開始しています。

企業を含む研究者の皆さまに積極的に活用していただくことにより、医学研究の発展を通じ人類の健康の増進に貢献することを目指しています。

研究者の皆様へ

To Researchers

東北メディカル・メガバンク計画では、一般住民15万人規模の前向きコホートからなる複合バイオバンクを構築しています。コホート事業を通じて収集した生体試料、健康情報、医療情報等はバイオバンクに集積・管理され、全国の研究者の皆さまに研究利用いただけるよう、試料・情報の分譲を実施しています。

バイオバンク試料・情報関連ウェブサイト

<https://www.dist.megabank.tohoku.ac.jp>



分譲する試料・情報について

Distribution

平成27年度より、データフリーズの終わった検体由来の試料・情報から段階的に分譲を開始しています。

分譲可能な試料

- DNA
- 血漿、血清、尿、母乳
- EBV不死化細胞及び増殖T細胞、単核球

分譲可能な情報

- 検体検査情報 : 血液・尿検査値
- 調査票(生活・食)情報 : 運動、飲酒、喫煙、ストレス、既往症、食生活等
- 特定健康診査情報 : 身長、体重、腹囲、血圧、尿タンパク等
- 生理機能検査情報 : 身体計測、肺機能測定、歯科検診、眼科検査等
- カルテ転記情報 : 妊婦健診情報等
- 全ゲノム配列情報
- SNPアレイ情報
- メタボローム解析情報
- 認知・心理検査情報
- MRI検査情報

*詳細調査(健康調査)は現在も継続的に実施しています。

データシェアリングの促進について

Data Sharing

多くの研究者の皆さまに複合バイオバンクの試料と情報を活用していただけるよう、データシェアリングの促進を図っています。

jMorp Japanese Multi Omics Reference Panel

日本人多層オミックス参照パネル

閲覧可能な情報:

- 全ゲノム情報
SNV及びINDEL頻度情報
- 日本人基準ゲノム配列
- メチローム情報
- メタボローム・プロテオーム情報
- ショーケースGWAS



<https://jmorp.megabank.tohoku.ac.jp>

dbTMMカタログ

東北メディカル・メガバンク 統合データベース

格納されている基本情報、健康調査情報、生理機能検査情報、検体検査情報、特定健診情報、調査票情報の各項目、データ数等の統計量、分布等のグラフを閲覧することができます。

*バイオバンク横断検索システムからも保有する試料・情報を検索することができます。

<https://www.biobank-network.jp/>



<http://www.dist.megabank.tohoku.ac.jp/about/data/>

申請の流れ

Application

無料

1. 利用者登録

1. 利用者登録申請書の提出
2. 秘密保持契約の締結

2. 事前申請

1. 試料・情報分譲事前申請書の提出
2. 分譲希望試料・情報の有無及びセキュリティレベルの確認および連絡*
3. 必要に応じて事務局担当者からの助言
4. 分譲に係る費用概算及び連絡

*ご希望される試料・情報の有無は、提出された試料・情報分譲事前申請書に基づいた事務局へのお問合せによって、ご確認が可能です。検討する条件が複雑な場合は、SEの支援が必要となり、別途費用がかかる場合もあります。

3. 本申請準備

1. 試料・情報分譲申請書、研究計画書の作成
2. セキュリティチェックリストの作成
3. 所属機関による倫理審査委員会による審査

4. 本申請

1. 試料・情報分譲申請書、研究計画書、倫理審査委員会審査結果等、セキュリティチェックリストの提出
2. 事務局から、分譲希望を満たす試料・情報の分譲可能性(試料の希少性、情報の匿名性等)の連絡
3. 事務局によるセキュリティチェック
4. 必要に応じて申請内容の修正
5. 試料・情報分譲審査委員会小委員会による研究計画の科学的妥当性の検討
6. 試料・情報分譲審査委員会大委員会による試料・情報分譲の可否の決定

有料

5. (承認の場合)MTA締結

6. 手続き

1. 試料・情報分譲
2. 必要に応じてスーパーコンピュータユーザアカウント申請
3. 試料・情報受領書の提出

7. 研究実施経過報告書の定期的な提出

1. 研究実施経過報告書の提出
2. セキュリティチェックリストに基づく定期的なセキュリティポリシー遵守状況の確認
3. 必要に応じて研究延長申請書や試料・情報分譲研究計画変更申請書の提出

8. 研究終了の手続き

1. 研究終了報告書及び試料・情報廃棄報告書の提出
2. 研究成果として得られた情報のバンクへの無償提供

費用について

Application Fee

事前申請に係る経費

(担当職員による検索の場合)

● 基本料	10,300円
● 情報検索・相談	41,600円

+

試料・情報分譲に係る経費

● 基本料	11,600円
● DNA 1サンプルあたり	3,000円
● 血清/血漿/尿/母乳 1サンプルあたり	4,000円
● EBV不死化細胞 1サンプルあたり	12,000円
● 増殖T細胞 1サンプルあたり	9,000円
● 単核球	16,000円
● データ抽出・加工作業費(10時間あたり)	104,000円

* なお、スーパーコンピュータ機器を使用した場合は、別途利用費が発生します。

試料・情報の 利用状況について

Utilization

本事業へご協力いただいた皆さまからお預かりした試料・情報は、「バイオバンク」として保存され、審査を経たうえで、その一部が東北大学の内部・外部に「分譲」され、研究利用されます。それぞれの研究の概要、及び実施状況等は、研究の実施機関が東北大学の内部・外部であるかを問わず、ホームページにて、公開しています。 ▶ <https://www.megabank.tohoku.ac.jp/koukai>

代表的な利用例

- GWAS解析：全ゲノムデータと疾患の関連解析
- 機械学習：健康調査情報、解析情報、生理機能等から疾患予測モデルを構築
- 検査法開発：血清等の試料から健康状態により変化する分子を同定

よくあるご質問

FAQ

Q 分譲された試料・情報に基づき知的財産権が生じた場合、バンク側にも権利が生じるのですか？

試料・情報の分譲を受けて行った研究成果から得られた知的財産権については、基本的には利用者側に与えられます。

Q 費用が掛かるのですか？

分譲に掛かる実費(事務手数料、審査費、試料・情報準備費など)をご負担いただきます。

Q 何があるのか詳細が知りたいのですが。

項目はdbTMMカタログ(www.dist.megabank.tohoku.ac.jp/about/data/)で公開しています。解析情報の概要はjMorpで閲覧可能です。個人ごとの情報については所定の手続きを経て提供されます。

訪問型遠隔セキュリティ エリアについて

Remote Security Area

東京日本橋にシンクライアント端末3台を有した訪問型遠隔セキュリティエリアを開設し、日本橋共用端末室として運用しています。遠方の研究者らが仙台まで足を運ぶことなく、ToMMoスーパーコンピュータに格納された各種解析情報やその計算能力を有効利用することが可能です。

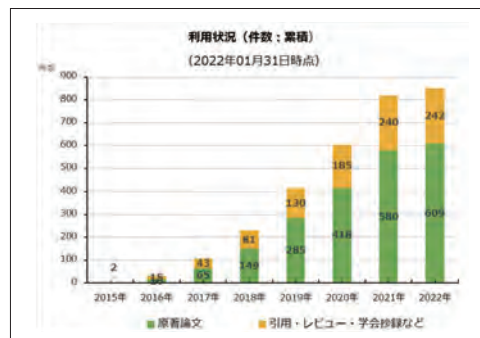
東北大学東北メディカル・メガバンク機構 日本橋分室

▶ <https://www.megabank.tohoku.ac.jp/access/access03>

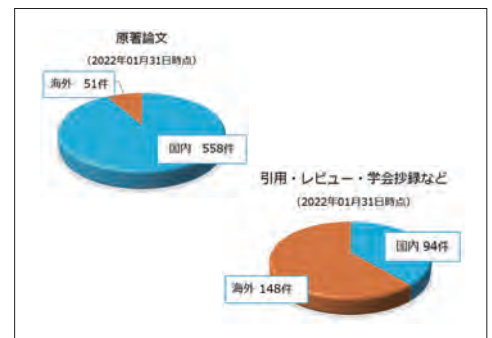
試料・情報利用の実績

Research Results

累積利用状況



海外・国内別利用状況



試料・情報分譲についてのお問合せはメールもしくはお電話にてご連絡ください

東北大学東北メディカル・メガバンク機構
バイオバンク利活用・産学連携推進センター 試料・情報分譲担当

📞 022-272-6955 受付時間：平日9:00~16:00

✉ dist@megabank.tohoku.ac.jp

*パンフレットに記載してある内容は、作成時のもので、現状と異なる可能性があります。最新情報はウェブサイトまたは試料・情報分譲担当への電話もしくはメールにてお問合せください。

<http://www.dist.megabank.tohoku.ac.jp/>



2022年4月版